

(株)中濃

可児市・土木、造園、水道工事等

従業員数 / 男性27名 女性4名 計31名 ※令和6年11月現在

建設業

エクセレント
POINT

- ①法を上回る最大25日の年次有給休暇の付与
- ②社長面談・アンケートを実施し、全社員のWLBを支援
- ③定年後の継続就労支援で若手従業員の人材育成



2023年4月、社員の働きやすさを重視した新社屋が完成。

中濃では、勤続年数に合わせて法を上回る最大25日の年次有給休暇を付与することに加え、失効した有休を最大50日まで積立可能にすることにより、長期の療養や介護が必要となった場合でも、復帰に向けて安心して治療や介護に専念することができる。また入社時に年次有給休暇を10日付与しており、新入社員も安心して休むこと

お互いが協力し合うアットホームな社風

ができるよう配慮している。

従業員が会社意見に言いやすい風通しの良い職場づくりを行うため、定期的に社長面談を実施するほか、年に1回ワーク・ライフ・バランスアンケートを実施し働き方改革を進めている。誕生日の食事券支給や部署ごとの食事会、土用の丑の日のうなぎ屋での食事会、国家資格合格者のお祝い会の他に、年1回の社員旅行は会社が全額負担するなど、仕事以外でのコミュニケーションを大切にしている。

義村晃社長が「昔からお互いが協力し合える環境にある」と話すように、子どもへの急病や行事などの際も、就業時間の調整や休暇の取得に柔軟に対応。2人の娘を持つエクステリア部の齋木秀文さんは「仕事と子育てを両立することができてありがたい」と感謝する。

高齢従業員の継続就労支援として、本人の負担を減らす人事配置や業務分担を行っている。ベテラン



新社屋完成を祝しての食事・慰労会の様子。

と若手が同じ現場で働くことで、これまで会社で培われてきた技術やノウハウを次の世代に引き継ぎ、人材育成にもつなげる。

従業員のキャリアアップ支援では、資格取得や技能講習、学習資材にかかる費用を会社が全額負担。土木施工管理技士、造園施工管理技士などの資格保有者が増えており、受注可能な業務を広げている。